



国際会長

## 2020-2021年度主題

Jacob Kristensen (DK)

「価値観・エクステンション・リーダーシップ」

“Values, Extension and Leadership”

アジア太平洋地域会長 David Lua (SG)

「変化をもたらそう」 “Make a Different”

東日本区理事

板村哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう」 “Le’s enjoy Changes”

クラブ会長

鈴木 茂

「相手の立場に立って考え、行動しよう！」

スローガン：「思いやりのあるクラブ運営」

## 2020-2021 クラブ役員

会長 鈴木 茂

副会長 辻 剛

書記 今城 高之

会計 鈴木 恭子

## 今月の成句

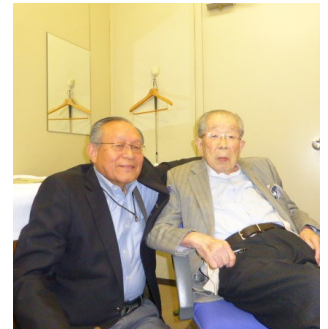
「このようにしてキリストに仕える人は、  
神に喜ばれ、人々に信頼されます。  
だから、平和や互いの向上に役立つ  
ことを追い求めようではありませんか。」

ローマの信徒への手紙14:18-19

## 《巻頭メッセージ》 日野原 重明先生を偲んで

辻 剛

先月、7月11日、断捨離の一環で資料や本の整理をしていたら日野原先生に関する様々な資料や写真が出てきました。何気なくパラパラと資料に目を通していましたら、これまで知らなかったことなどがいくつか目に入りました。何より驚いたのが、先生は2017年に105歳の天寿を全うされたのですが、この日は偶然にも先生のお命日だったので



・2007年に読売新聞に連載された「時代の証言者」によると、先生は京都大学大学院終了に1年残した1941年（昭和16年）、キリスト教青年会（YMCA）同盟の学生総主事が寮を訪ねて来て、東京の聖路加国際病院で循環器のできる若い人を探しているけど、どうかとリクルートされた由。こうして、なんとYMCAの勧誘で後の聖路加国際病院理事長が生まれたわけです。

・日野原先生には両親、兄弟姉妹を含み家族ぐるみでお世話になりました。先生は、今風に言うなら典型的な「患者様ファースト」の医師でした。体調がすぐれないときなど、夜中でも、海外出張中でも電話を入れればいつでも快く応対して、適切な指示を出してくださいました。それをいいことに先生と同年だった父などは何かというときに電話をさせていただいていたようです。

・先生には、父母とも最後を看取っていただきました。とくに母のときは、救急でかつぎこまれたのが聖路加病院でない病院でしたが深夜お嫁さんの運転する車で駆けつけてくださり最後まで看取っていただきました

・私のとっても忘れられない経験があります。私が原因不明の食欲減退や震えなどに悩まされたとき、担当医も看護師さんも見逃していた細かいいくつかの症状を先生が見抜いてくださり甲状腺亢進症と診断し適切な治療をしていただきました。

・“師の触診 勇気も共に伝えられ”。これは先生がホスピスで回診したときにある患者さんから手渡された歌だそうです。世間話を交え話を聞きながら、そつと手首に触れ、それから脈をとる。それだけで私たち患者の気持ちは明るくなり、たいていの病気はだいぶ良くなったような気持ちにさせてしまう、そんな名医でした。

・「年老いているということは、もし人が始めるということの真の意味を忘れていなければ、素晴らしいことです」。このマルティン・ブーバー（オーストリアの哲学者）の言葉に感動した先生は、75歳以上の「新老人」の力と働きに大きな期待をこめて、「新しいことを創める」をスローガンに掲げ、「新老人運動」（2000年）を始めました。「新老人の会」は老人が上手に生きるために、5つの条件をあげていますが、その一つが「高齢になっても、何かを『創める』のに遅すぎ」（次頁へ）

## 8月本例会

2020年8月21日 14:30～

@かけはし都筑

司会:鈴木恭子 受付:杉本千津子

- 1.開会点鐘 鈴木会長
- 2.ワイズソング・信条 一同
- 3.今月の聖句・祈祷 相賀チャレン
- 4.ゲスト・ビジター紹介 司会者
- 5.会長挨拶
- 6.卓話 「児童虐待と社会的擁護」  
横浜いのちの電話理事長  
松橋秀之氏
- 7.協議・報告事項
- 8.YMCA報告
- 9.Happy Birthday  
林 茂博 (13日)  
辻 剛 (30日)
- 10.スマイル&アピール
- 11.閉会点鐘 鈴木会長

(前頁より)

るということはない]です。

・一方、ワイズの役員就任式式文に、「あなた(がた)は、いつも何かをスタートさせ、それを成功に導いていくことが期待されています。」とあります。ここでいう“何かをスタートさせる”は、まさに「新しいことを創める」と同じで、ワイズの考え方そのものです。

・その日は書斎の片付けのつもりが期せずして先生を偲ぶ時間になってしまい、気が付いたら日が暮れかかっていた。しかし、久しぶりに日野原先生の診察を受けて勇気をいただけたような気持ちになり、直接間接に先生とYMCAやワイズとの浅からぬ縁も感じ、コロナ疲れの気持ちを明るくしてもらいました。  
以上

《例会報告》

2020年7月本例会

今城 宏子

日時：2020年7月24日14：30～16：30

@かけはし都筑

司会：辻 剛 受付：今城 宏子

出席：相賀、今城T・H、岡田、岡崎、鴨下、胡麻尻、鈴木K・S、辻Ta・Ts、林S、福島、三木、山添、横田 (16名)

ビジター：古田和彦湘南・沖縄部長、伊藤誠彦部書記、佐藤節子部ユース事業主査

ゲスト：高松満至

《議事》

- 1) 開会点鐘：今城直前会長  
ワイズソング・ワイズの信条唱和
- 2) 今月の聖句・祈祷：相賀チャプレン  
「内なる人」は永遠の命につながる。今の周りの状況につぶされず再生され常に新鮮である。内から強められねばならない。落胆しないで使命を全うすることができるようにとの力強いメッセージと祈祷をいただいた。
- 3) ゲスト・ビジターの紹介：湘南・沖縄部古田部長、伊藤書記、佐藤主査の紹介および高松さんの紹介がされた。
- 4) 会長引継ぎ・就任式、今城Tより鈴木Sへの会長引継ぎならびに新役員の就任式が古田部長立ち合いのもと行われた。
- 5) 鴨下ワイズ(担当主事)の新会員入会式が部役員立ち合いの下、鈴木茂新会長によって行われた。
- 6) 鈴木茂新会長挨拶

- 7) 2020年度第1回クラブ総会：  
鈴木新会長が議長を務めて、定足数確認の上、審議がされ承認された。  
7-1 2019-2020年度クラブ事業報告  
7-2 2019-2020年度クラブ収支決算報告  
7-3 2019-2020年度会計監査報告  
7-4 2020-2021年度会長主題とクラブ  
7-5 2020-2021年度クラブ役員体制と役割分担  
7-6 2020-2021年度クラブ・部・区行事予定  
7-7 2020-2021年度クラブ収支予算：会長
- 8) 部長挨拶：古田和彦部長  
\*湘南の7クラブのうち4クラブ目の訪問。  
\*様々な活動が計画通りに行かないことがほとんどである。  
\*新年度もYMCAの活動に賛同して、それに沿って活動していく。  
\*各クラブが活動を共有して一緒に活動することを考えてよいのではないか。  
\*「良い企て」を共通して受け止め、活動できれば！  
\*チャリティーランへの関わり、部大会について今後検討していく。
- 9) Happy Birthday (岡田美和、杉本千津子、三木直子、今城高之各ワイズ)
- 10) YMCA報告：鴨下北Y館長  
◇6月から活動再開。  
◇チャリランはオンラインで。  
◇バザーは困難か。  
◇基金の説明。
- 11) 閉会点鐘 鈴木新会長 (完)

(7月のデータ)

例会出席	20名	在籍会員数	17名	各種記録	7月実績	年度累計
メンバー	16名	月間出席者数	16名	スマイル	0円	0円
ビジター	3名	メ-キャップ	0名	—	—	—
ゲスト	1名	月間出席率	94%	—	—	—

## 北Y便り



主任 野田 知裕

～台北YMCAとのつながり～

みなさま、初めまして。湘南とつかYMCAより4月から異動してきました野田と申します。発達障がいのあるお子さまの支援と菊名小学校放課後キッズクラブを運営するオルタナティブ部門の責任者を務めております。横浜YMCAに入職して14年が経過しましたが、2012年～2016年の4年間、私は台湾の台北YMCAへ出向した期間がありました。そんな台湾で過ごしたことを少しお話しします。



(キャンプ出発前)

沖縄よりさらに南に位置する台湾は亜熱帯気候で夏は35℃を超える猛暑である反面、冬は10℃を下回ることはない温暖な気候です。台湾に対するイメージはご存知のとおり「親日」な国で、

日本人に対し、とても親切に接していただけます。普段から優しく接して下さる台湾の方々とは何か交流をしたいという想いが日々募り、2012年の夏には台日交流キャンプを実施しました。現地に住む日本人の小学生24人と台湾人の小学生42人の子どもたちと2泊3日でキャンプを行い、言葉は通じなくても子どもたちは遊びをとおして自然と仲良くなって



(カヤック体験)

いきました。

また、その翌年、東日本大震災により福島で被災された中高生を対象にした台日交流キャンプも行いました。台湾の中高生と過ごした中で、登山、カヤック体験、台北市内

観光を5日間の日程で

過ごし、参加した中高生からは『一生忘れられない思い出ができた』と口々に話していました。復興支援のために何か役に立ちたいという想いも同時に果たせたので、私自身も嬉しかった思い出の一つです。

そんな台湾ですが、横浜YMCAとのつながりもあり、台湾で日本語を学ぶ大学生が夏休み期間に日本へ来日してキャンプをサポートするプログラムICCP-J (International Camp Counselor Program - Japan) を毎年横浜YMCAで受入をしています。今年は残念ながらコロナウイルスの影響により、受入ができない状況ですが、コロナウイルスが収束したら台湾の学生らが日本に来てくれることを願っています。そしてまた大好きな台湾を訪れることができることを待ち望んでいます。

以上

(あとがき) 今号より、「北Y便り」は鴨下館長のみならず、最前線で頑張っておられるスタッフの方々にも寄稿して頂くこととなりました。YMCA活動への理解促進に役立つものと思います。読者からの反応があれば筆者にお伝えします。

## 《ご案内》

今後の例会と卓話の予定

## ◇9月例会

開催日時：9月18日(金)14：30～

@かけはし都筑

卓話者： ①深尾 香子さん (多摩みなみクラブ)  
茶道について  
②石田 孝次さん(多摩みなみクラブ)  
ボランティア活動のファンドレイジング

## ◇10月例会

開催日時：10月23日(金)17：00～

@かけはし都筑

卓話者： 坂口直樹さん (右欄参照)  
情報セキュリティの話

※当クラブの本例会は、通常毎月第4金曜の18:30開始ですが、コロナ禍により、開催日時が変則的になっていますのでご注意ください。

## 【10月卓話者のプロフィール】

坂口 直樹 (サガチナオキ) さん  
ITアーキテクト・コンサルタント



慶應義塾大学工学部大学院卒。三菱商事(株)、アイ・ティー・フロンティアを経て、現在はITコンサルタントとして、水処理関係会社・業務用酒販店の情報システムと情報セキュリティに関する業務支援を行っている。三菱商事時代は主に海外拠点の基幹システム導入を担当し、米国駐在、独国駐在を経験した。アイ・ティ・フロンティアでは情報戦略担当・情報セキュリティ担当の役員を経験した。

当クラブの例会に皆様のご参加をお待ちしています。  
参加ご希望の方は、以下にご連絡ください。  
クラブ会長:鈴木 茂 Tel 090-4842-9363  
メールアドレス: gsuzuki@a04.itscom.net

《報告》

2020-21年度湘南・沖縄部 第1回評議会参加報告

鈴木 茂

日時 : 2020年7月25日(土) 15:00~17:00  
 会場 : 横浜中央YMCA 606号室(Zoom併用)  
 出席者 : 部役員(部長、直前部長、書記、会計、各事業主査、委員会委員長、部担当主事、監事)・クラブ役員(会長、副会長、書記、会計)計34名(内Zoom3名、委任状12名)。  
 つづきクラブ参加者 : 鈴木 茂・辻 剛・今城高之

湘南・沖縄部の2020-21年度 第1回評議会が7月25日(土)に横浜中央YMCAで開催されましたので、辻副会長、今城書記と共に出席しました。古田和彦新部長(横浜クラブ)の挨拶、書記による出席者紹介に引き続いて、古田議長の下で次の7つの議案が上程され、何れも出席者全員の賛成により承認されました。

- 第1号議案 2019-20年度第4回評議会議事録 (森田直前部長)
- 第2号議案 2019-20年度事業報告 (森田直前部長)
- 第3号議案 2019-20年度部会計決算 (伊藤康一直前会計)
- 第4号議案 2020-21年度部行事予定(古田部長)
- 第5号議案 2020-21年度個別行事計画<部大会、合同新年会> (古田部長)
- 第6号議案 2020-21年度部会計予算 (伊藤康一部会計)
- 第7号議案 次期部長、次年度次期部長の選出 (古田部長)

以下に個別議案の中で注目すべき事項を説明いたします。

◆ 第4号議案  
 2020-21年度部行事予定で古田部長は、「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共にYMCAに仕えよう」を今期部長主題に掲げ、各クラブが自分のクラブだけの活動に限定せず、複数クラブ合同の活動を企画、推進することによって湘南・沖縄部全体としてのクラブ活動の活性化を図りたいと訴えました。次に第5号議案の部個別行事計画では、本年度の部大会が次の要領で開催されることが承認されました。

日程 : 2020年10月3日(土) 15:00~17:00  
 場所 : 湘南とつかYMCA 1階講堂  
 内容 : ①式典(開会礼拝、部大会)

- ②記念講演  
 仮題「環境問題を考える」  
 講師 鈴木弥也子氏(横須賀YMCAリーダー。APAY、世界同盟会議等に参加、国際的に活躍)。
- ③懇親会は実施しない。

会費 : 1,000円。

◆ 第7号議案の「次期部長、次年度次期部長選出」では、難航している次期部長選出に関し、「部則施行細則」に基づき、「次期部長選考委員会」(部役員、監事及びクラブ会長にて構成)を第1回・10月3日、第2回・10月23日(場合によっては追加)に開催することが承認されました。

その後、(1)東日本区役員会(7/11開催)報告、(2)部書記・会計報告、(3)各事業主査活動方針及び報告、(4)エクステンション委員会報告、(5)各クラブ会長活動方針及び報告、(6)YMCA報告が行なわれ、最後に峯尾監事の監事講評を経て第1回評議会は無事終了しました。(完)

“コロナ病禍から学ぶべき教訓”

会長 鈴木 茂

私たちは過去6か月間、コロナ病禍によってクラブの諸活動もままならず、さまざまな制約を強いられてきましたが、現在なお不安と恐怖の中に怯えている状況にあります。今後の推移はまだまだ予断を許しませんが、この病禍は私たちに対する天の警告・試練として謙虚に受け止める必要があると思われま

会長の一言

き大きな教訓を大切にしなければならぬと考えます。それは私たちがコロナで隔離・分断されたことによって気づかされた人とひととの連帯の絆です。長い自粛生活を通して、まさに“つながり”の大切さを再認識させられました。中でも社会的な格差の下で苦しむ差別された人びと、弱い立場にある人びとへ、私たちワイズメンは思いを寄せたいと思います。

以上

▽昨今の異常事態に体も心も慣れてきたような気さえします。恐ろしいことですが、特に高齢者の多いわがクラブでは殊更万全を期した感染防止策が必要で、先ずかからない、次いでうっさい、が肝要でしょうか▽エイズフォーラムでお馴染みの、感染症の専門家、岩室先生がテレビで「食事前の手洗い」が極めて有効な手立ての一つ、と言っておられました。早速実行しましょう。(編集子)

▽▽編集後記△△△